



エコアクション21 環境経営レポート 2023年度 17期

（対象期間：2023年6月～2024年5月）

創業の精神

選ばれる存在になるために

企業ビジョン

BEST PRINT FOR LIFE, FOR EARTH.

地球にやさしい印刷物を。すべての想いに応えるサービスを。新たな挑戦と進化を。

環境経営方針



- 1.環境目標を設定し、環境マネジメントを推進します。
定期的な見直しを行い、継続的改善に努めます。
- 2.取り組みとして以下の項目を実施致します。
 - ①電力量・化石燃料の使用量低減に努め、ゼロカーボンを目指します。
 - ②水使用量の削減に努めます。
 - ③廃棄物排出量の削減に努めます。
 - ④化学物質管理・化学物質の負荷の少ないものを適正に管理します。
 - ⑤お客様や利害関係者に環境に配慮した製造とサービスを提供します。
(SDGs、カーボンニュートラル、脱プラへの対応を含みます。)
- 3.環境に関する法規制等を遵守し、環境保全・予防に努めます。
- 4.環境経営方針を社員一人一人に周知させ、これを実行するとともに改善・向上に努めます。

作成日：2011.6.11
更新日：2024.6.28

株式会社CCG HONANDO 代表取締役 工藤 裕介

事業概要

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 CCG HONANDO (2021年6月1日社名変更)
代表取締役 工藤 裕介
- (2) 所在地
株式会社 CCG HONANDO
大阪本社：大阪府大阪市中央区南本町1丁目8-14 堺筋本町ビル5F
東京本社：東京都千代田区九段南2丁目3-14 日本生命靖国九段南ビル4F
第一工場：大阪府東大阪市楠根2丁目5-29
第二工場：大阪府東大阪市楠根1丁目7-46
第三工場：大阪府東大阪市森河内西1丁目7-8 (内職工場)
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
代 表 者 ：工藤 裕介
管理責任者 ：広地 康訓
TEL：06-6744-3999
- (4) 事業内容：印刷物の製造
- (5) 事業の規模：売り上げ 1130百万円

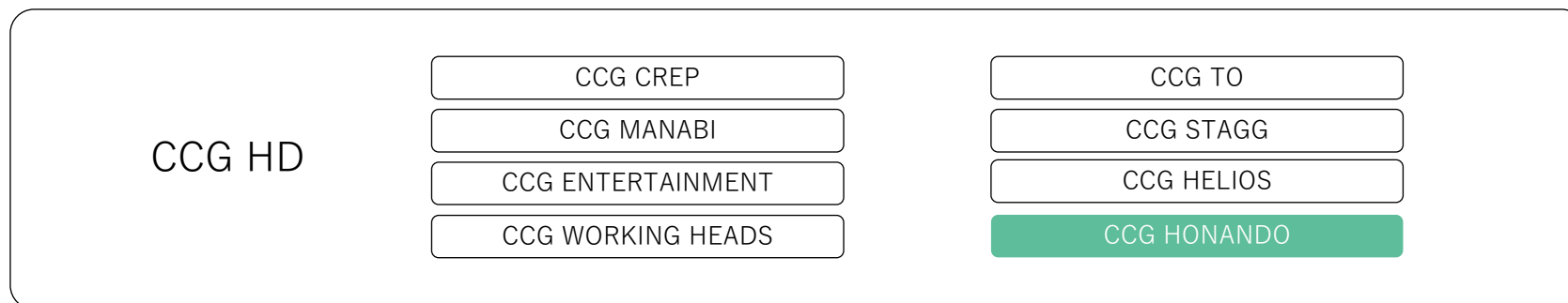
	大阪本社	東京本社	第一工場	第二工場	第三工場	合計
従業員 (人)	13	8	12	5	0	38
延べ床面積 (㎡)	704.6	1,056.5	1,434.2	330.5	667.8	4,193.5
使用面積 (㎡)	206.4	30.0	515.4	330.5	468.8	1,551.1

- (6) 事業年度：6月～5月

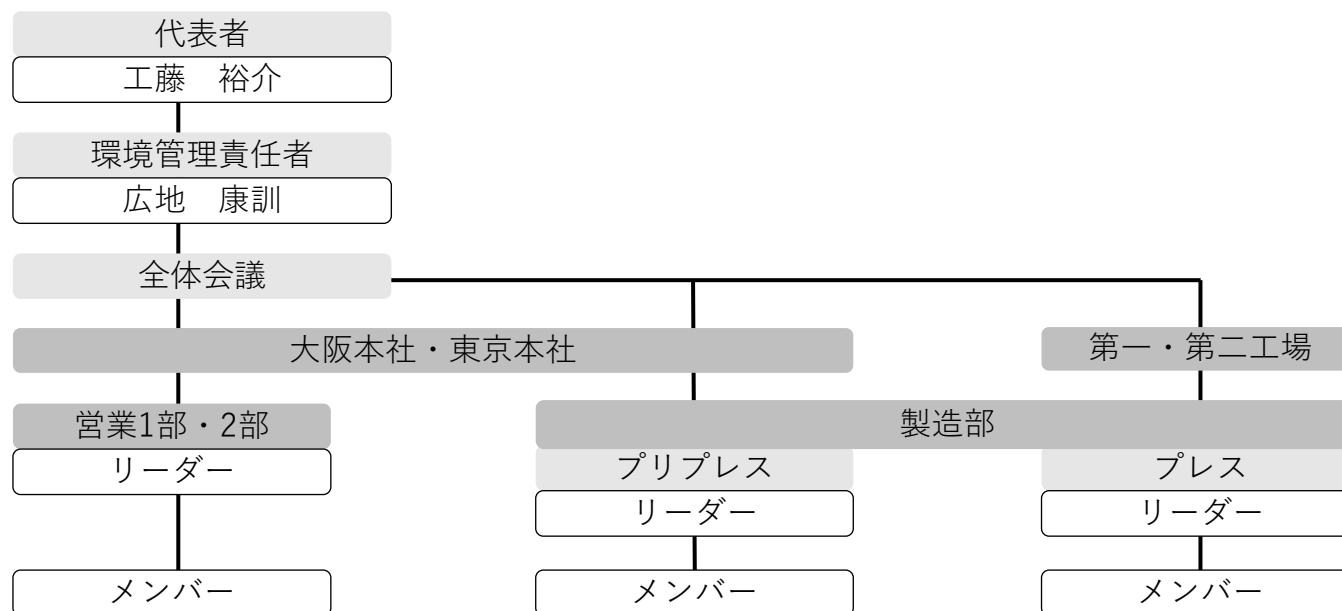
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社CCG HONANDO
対象範囲：大阪本社・東京本社・第一工場・第二工場
対象範囲外：第三工場
(業務委託により使用エネルギーは委託会社負担のため)
活動：印刷物の製造

グループ体系



CCG HONANDO 実施体制図



作成日：2018.06.01
更新日：2024.06.28

環境経営システム 役割・責任・権限表

代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
全体会議	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・3か月に1回活動計画書の周知とチェック
部門長	・自部署における環境経営システムの実施 ・自部署における環境方針の周知 ・自部署の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部署に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部署の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部署の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Best Print For Life ,For Earth

地球にやさしい印刷物を。すべての想いに応えるサービスを。新たな挑戦と進化を。

「選ばれる存在になるために」という理念のもと、さらなる印刷技術の向上、環境負荷の低減を実現し、お客様や世の中のさまざまな課題を印刷でソリューションする。イノベーションする。それが、私たちCCG HONANDOです。

設備

製版設備

- ・大判インクジェット出力機×3台
- ・XMF
- ・PTR8900（CTP出力機）

工場内設備

- ・小森リスロンS40：菊全4色機
- ・小森リスロン G40 advance：菊全5色機
- ・RYOBI524 G X：菊四裁4色UV印刷機
- ・UCHIDA計数機
- ・断裁機2台
- ・ホリゾンAF-566F折機

工場内設備

中綴

- ・8鞍、9鞍（ミューラ・マルティニ）
- ・ホリゾン：6段3列×1台
- ※CCDカメラ搭載

無線綴

- ・18鞍（芳野マシナリー）
- ※18鞍にCCDカメラ搭載
- ・貼込機6鞍 1台
- ・断裁機3台
- ・折機5台
- ・自動包装機×2台（東京自動機）



アクセス



大阪本社
〒541-0054
大阪市中央区南本町1丁目8-14
堺筋本町ビル5F
TEL:06-6262-0995
FAX:06-6262-0987



東京本社
〒102-0074
東京都千代田区九段南2丁目3-14
日本生命靖国九段南ビル4F
TEL：03-5657-6376
FAX：03-5657-6788

H P : <https://ccg-honando.jp/>



東大阪第一工場
〒577-0006
東大阪市楠根2-5-29
TEL:06-6744-3999
FAX:06-6748-8060



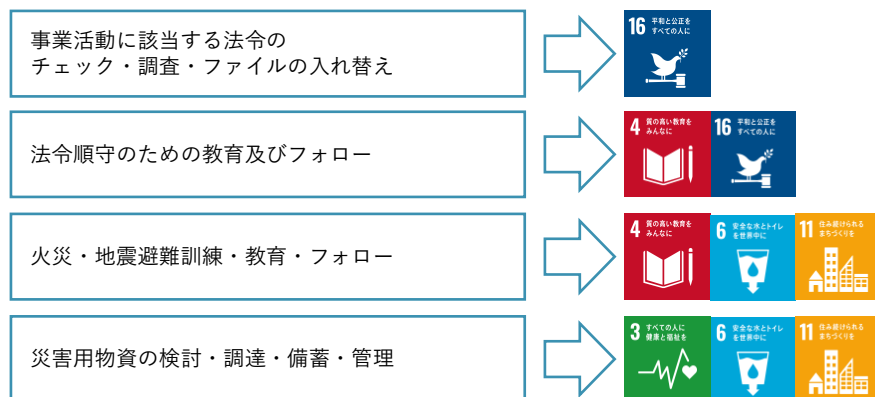
東大阪第二工場
〒577-0006
東大阪市楠根1-7-46
TEL:06-6746-3994
FAX:06-6746-3906



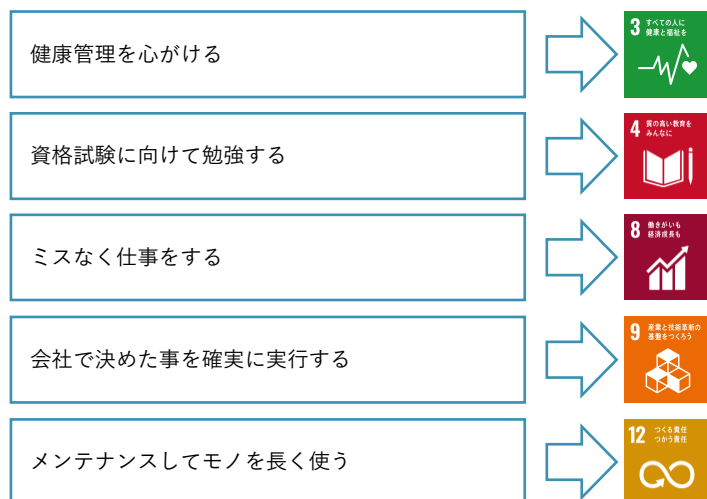
東大阪第三工場
〒577-0061
東大阪市森河内西1丁目7-8
（内職工場）

CCG HONANDO SDGs

法規制遵守関連



その他活動



環境活動



HP : <https://ccg-honando.jp/>



17期、2023年10月より日本サステナブル印刷協会へ入会

SCOPE 1 をJ-クレジットの購入によりゼロとし、
CARBON ZERO PRINT工場の認定を受けることが出来ました



それにより、CARBON ZERO PRINTマークを印刷し環境配慮製品として
製品の認知へまた一步つなげることが出来ました

合せて大阪府の脱炭素経営宣言にも登録し、
今後もより一層の環境活動につなげてまいります。



気候変動（温室効果ガス問題）



カーボンゼロ工場の認定を受けた
工場で製造で製造することで対応

森林破壊・砂漠化



森林認証紙を使用することで対応

海 洋 汚 染



紙製品にて脱プラ商材をつくり
お客様に採用して頂くことで対応



CCG HONANDO



エシカル消費

『人と社会、地球環境、地域』のことを考慮して作られたモノ』を
購入・消費すること

お客様の展示会での配布物、会社案内などカーボンゼロプリント工場ロゴを掲載することにより

ECO製品・SDGs商品と証明することができ、

環境配慮のアピールが企業としてできるのと同時に、

お客様の**SCOPE 3調達、CO2削減へ貢献**致します。



CCG HONANDO



COPYRIGHT© CCG HONANDO

環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	83,688	21,271	0
SCOPE 1	kg-CO ₃	22,345	21,271	0
SCOPE 2	kg-CO ₄	61,343	0	0
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	4.92	6.16	3.81
産業廃棄物排出量	トン	152.29	149.23	150.49
水使用量	m ³	1,123	960	884

※二酸化炭素排出係数：0.309kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※2021年8月からの東大阪第一工場、東大阪第二工場の電力二酸化炭素排出係数はゼロ。2022年4月より大阪本社ビルも電力二酸化炭素排出係数はゼロ。

※SCOPE 1 は、J-クレジットを購入しゼロとしております。

環境目標数値及び実績数値

年 度		基準値	2023年		評	2024年	2025年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)	価	(目標)	(目標)
大阪本社の電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	16,052	15,731	0	○	0	0
	基準年度比	2017年	98%	0%	○	0%	0%
製造工場による電力量の削減	kg-CO ₂	0	662,573	0	○	0	0
	基準年度比	2022年	95%	0%	○	0%	0%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	0	0	0	○	0	0
	基準年度比	2017年	98%	—	○	0%	0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	16,052	678,303	0	○	0	0
一般廃棄物の削減	t	7.49	6.37	3.81	○	6.37	6.37
	基準年度比	2017年	85%	53%	○	85%	85%
産業廃棄物の削減	t	168.03	164.67	147.72	○	159.63	159.63
	基準年度比	2017年	98.0%	87.9%	○	95.0%	95.0%
水使用量の削減	m ³	1,104	1,082	884	○	994	994
	基準年度比	2017年	98%	80%	○	90%	90%

※都市ガスは6月時点で廃止しております。

※東京本社の電力量は、テナント入居のため個別メーターがなく一般廃棄物のみ含まれています。

※化学物質管理については、E C O 商材を使用しているため定期チェックのみとさせて頂いております。



2023年度 各サイトの負荷の実績

	東京本社	大阪本社	第1工場	第2工場	合計
電力 (kWh)		76,867	433,562	246,921	757,350
都市ガス (m³)		0	0	0	0
ガソリン (L)	439	4,785	0	1,523	6,746
二酸化炭素排出量kg-CO2	0	0	0	0	0
水道水 (m³)		0	743	141	884
一般廃棄物排出量 (t)	0.33	0.30	2.93	0.03	3.58
産業廃棄物 (t)	0.00	0.00	101.05	48.85	149.90
紙屑			88.38	39.71	128.09
廃アルミ			6.48	7.91	14.39
廃油			2.86	1.23	4.68
廃酸			0.65	0.00	0.65
廃アルカリ			2.12	0.00	2.12
特管廃アルカリ			0.56	0.00	0.56

※東京本社はテナントのため、電力量と水使用量は把握できない。

※大阪本社はテナントのため、水使用量は把握できない。

※製造工場は、2021年8月より再生可能エネルギーを使用しております。

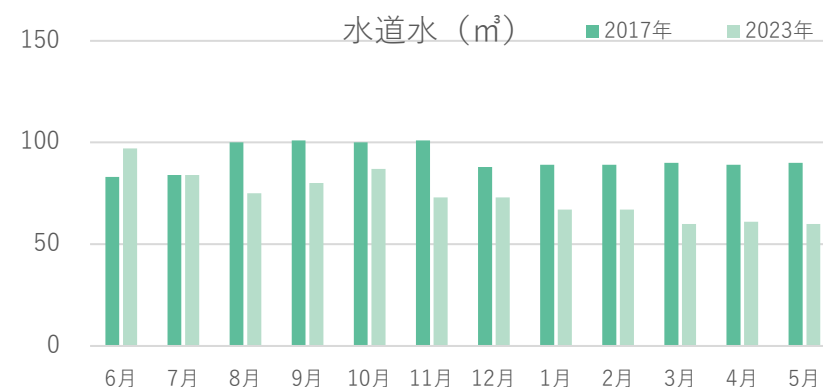
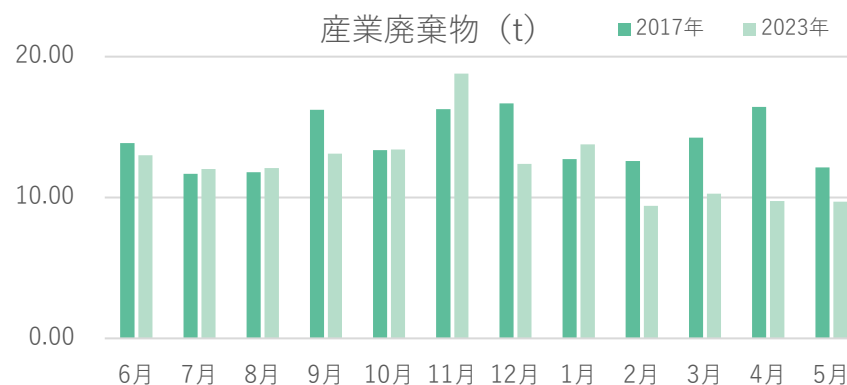
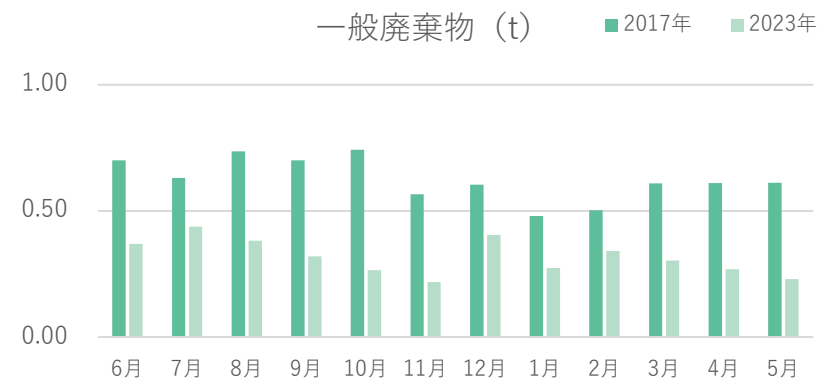
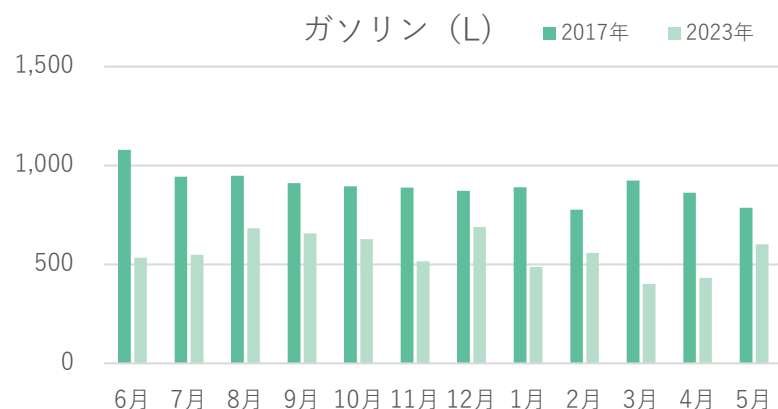
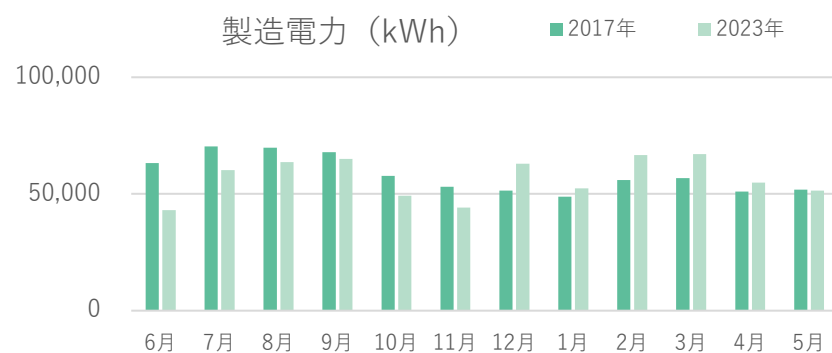
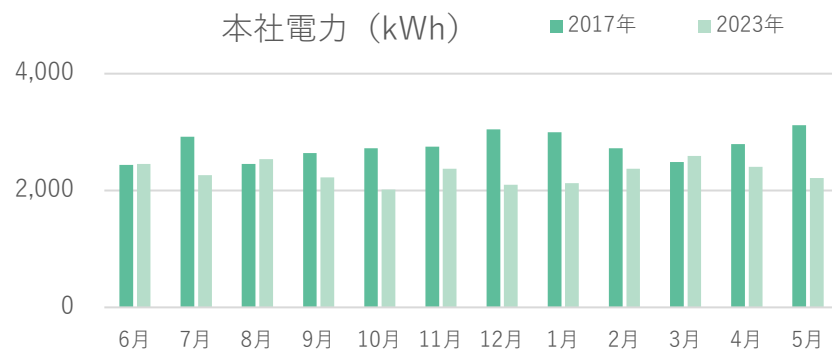
※2022年4月より大阪本社ビルも再生可能エネルギーを使用しております。

※2022年12月に東大阪第二工場へ新たな印刷機を導入しているため、負荷が増えております。

※2023年6月に東大阪第二工場のガスの利用を停止しております。

※2023年度分のSCOPE 1 は、J-クレジット購入によりゼロにしております。

環境負荷（使用量）の実績推移



環境活動の取組み計画と評価

○よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

大阪本社の電力による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	検版のデジタル化、お客様の変容により、残業時間の短縮も経営として上手くいき、前年対比84%と達成出来ている。大阪本社は、管理会社にて再生可能エネルギーを採用しているため、CO2排出はゼロとなります。
・不要照明、不要設備の消灯		○	
製造工場による電力量の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	H-UV印刷機の使用電力が大きく、8色機停止分の削減とほぼトントンとなっていたが、再生可能エネルギーを使用しているためCO2排出はゼロとなります。
・不要照明、不要設備の消灯		○	
・カーボンニュートラルへ		○	
・生産工程の待機時間短縮		○	
・省エネ性能の高い電気製品の購入(エアコン)		○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	営業の業態変化及び売り物の変化により、納品などの運送、営業先への訪問回数も変化し37%の削減に繋がっている。今回は、日本サステナブル協会入会にあたりカーボンゼロ工場の認定を受けるため、CO2排出権を購入しゼロにしております。来期分のJ-クレジットを購入し、来期も排出ゼロに致します。
・アイドリングストップ		○	
・効率的なルートで配送		○	
・エリア別営業活動の見直し		○	
一般廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	8色機の廃棄もあり、それに伴って一般廃棄物も減っている。元々要らないものも多い状況だったが、3Sにより削減出来ていっているため、来期も継続した削減の実施を行いたいと思います。
・分別の徹底		○	
・可能な限り修理することで長期間使用している。		○	
・作業ミス防止による廃棄物の削減		△	
産業廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	8色機の削減により廃インキなどの廃棄物が大幅に減りましたが、刷版の自動現像機の廃液圧縮装置の保守終了に伴い通常の廃アルカリとしての廃棄を再開したため今期12%の削減量を維持出来ない可能性があるため来期は基準年度95%を目標に実施します。
・作業ミスによる廃棄量の削減		△	
・廃棄物の見える化		○	
水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	8色機を廃棄したことにより、水使用量が下半期より下がっております。来期は、上半期分の削減も見込めるため、基準年度75%を目標に実施したいと考えております。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示		○	
・水道管の漏水点検		○	
化学物質管理		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・有害性物質の含有の確認		○	基本的にECO溶剤のみを使用し、来期も継続し実施をする。
・容器の蓋の徹底		○	
・有害性の少ない資材の購入		○	
・インキ、グリス、溶剤など（SDSを確認）		○	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	違反
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（アルミ板、廃プラ、廃酸、廃アルカリ、廃油等）	無
	マニフェストの管理（産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出）	
騒音規制法	印刷機 4 台	無
振動規制法		
消防法（危険物）	火災予防	無
PRTR法	指定化学物質の使用量・排出量・移動量の把握	無
自動車NOx・PM法	排気ガス規制に適合した自動車の使用	無
グリーン購入法	資材購入時、環境配慮製品の優先購入	無
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアドライヤ等に適用	無
小型家電リサイクル法	O A 機器の処分（O A 機器の撤去時に適用）	無
自動車リサイクル法	営業用乗用車、トラック買い替え時に適用	無
顧客要求事項	情報セキュリティ、FSC CoC認証	無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反・訴訟等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

外部からの苦情等はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

今期大きな出来事として日本サスティナブル印刷協会への入会があります。入会したことによりカーボンゼロプリント工場の認定を受け、認定ロゴを印刷物に印刷することによりお客様への環境配慮製品のアピールがより一層出来る様になりました。合わせて、お客様への環境の取り組みの浸透により、勉強会を実施して欲しいとの要望も頂く様になりました。今後も環境配慮製品の推進と環境配慮企業としての認知を広めていければと思っております。

環境経営方針	☐ 変更なし	☒ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

株式会社CCG HONANDO 代表取締役 工藤 裕介

Best Print For Life, For Earth

環境配慮企業であり、ワクワクをつくる企業でありたい

小さな企業でも世の中を変えられることを示したい